

⑥【質問者：子ども議員 河本 彩花さん】

「空き家の有効活用」について提案します。

まず、空き家の現状について説明します。このグラフを見てください。今、全国で空き家の件数が年々増えています。1998年空き家の件数は182万件だったのが、2018年には1.92倍の349万件あります。関ヶ原町は、令和2年で168件あります。小学校の通学路でも、何年も放置されている空き家をよく見かけ、これからも空き家は増えていくかもしれません。空き家があると、倒壊の危険、不法侵入の恐れ、悪臭、衛生環境の悪化、放火の恐れ、外観が悪いなどデメリットがあります。

そこで、私たちは関ヶ原町の空き家を有効活用するためにどうすればいいのか考え、空き家を駄菓子屋に改築することを提案します。駄菓子は全世代から長年親しまれているお菓子です。皆さんも一度は口にすることがあると思います。それに何ととっても駄菓子の良いところは安くておいしいところです。私たち小学生でも駄菓子ならたくさん買うことができます。私たちの親も、「小さい頃はみんな駄菓子をよく買いに行った。」という楽しい思い出をよく話してくれます。しかし、私たちには駄菓子屋での楽しい思い出があまりありません。関ヶ原に限らず、全国的に見ても駄菓子屋は少なくなっています。そこで関ヶ原小学校の児童に「駄菓子は好きか」というアンケートを取りました。「駄菓子が好き」と答えた児童は10割に近く、「関ヶ原に駄菓子屋がほしいか」というアンケートにおいても、「できてほしい」と答えた児童が9割を占めていました。理由としては「手軽に買いに行くことができる。」が圧倒的に多く、その次に「お小遣いだけで買うことができて安い。」が多いことが分かりました。その他にも「昔ながらの駄菓子が食べたい。」や「おじいちゃんと一緒にいきたい」など様々なものがありました。このように私たちだけでなく、関ヶ原町に駄菓子屋を求める声はたくさんあるため、駄菓子屋の開店を提案します。

また、この駄菓子屋で関ヶ原町ならではの駄菓子を作るのはどうでしょう。例えば「家紋チョコ」というものを考えてみました。関ヶ原合戦のイラストの銀紙にチョコを包み、その中に家紋のフィギュアを入れるというものです。ついつい集めてみたくなってしまうませんか。その他にも「大筒麩菓子」というのも考えてみました。実際の大筒の長さ約1mの原寸大の大きさに作った麩菓子というものです。見た目にも迫力もあり、話題性もあってバズると思います。このように関ヶ原ならではの駄菓子を作ることでさらなる観光客の増加を促すことができると思います。

駄菓子屋のPRについてはYouTube、インスタ、X、子供用ホームページなどを活用します。私たち若い世代にまかせてもらえればPRを行います!! 駄菓子屋を作り、関ヶ原町に活気を戻していきませんか。

以上の提案について、町長さんの考えをお聞かせください。

【答弁者：町長】

それでは河本議員のご提案についてお答えします。

河本議員が言われるように、関ヶ原町においては空き家がどんどん増えております。空き家になった理由は、そこに住んでいた人の考え方であったり、家庭の事情であったり、金銭的な理由であったり、その要因は様々であります。

空き家が増えているということは、人口が減少していることの表れでもありますし、近くに住んでいる皆さんの生活環境を壊してしまう事にもなりかねませんので、空き家をどうしていくかということは、関ヶ原町を発展させていく上で、避けては通れない、大変重要な課題であります。

では、空き家をどうしていくのかという方法を考えてみますと、大きく分けて三つの方法があると思います。一つは空き家を取り壊して新しくその土地を活用していく方法。二つ目に空き家に新しい方に住んでもらう方法。そして三つ目が河本さんが提案される、改築等を行って新たな用途で活用するという方法です。

関ヶ原町は誰もが知ってのとおり「関ヶ原の戦い」があった場所として全国的に有名で、観光のまちとして積極的な取り組みを進めています。そこに着目をして、関ヶ原町民だけではなく、観光客にも来ていただいて、喜んでいただけるような駄菓子屋さんを開店するというのはとても良いアイデアだと思います。駄菓子屋さんだけでなく、空き家を利用して、いろいろなお店が出来たらいいと思っています。

空き家にはもちろん持ち主がいて、その持ち主の考え方であったり、その空き家が改築できる状態かどうか、また駄菓子屋は誰が行うのか、商売として成り立つのか等、関係する人が色々なことを検討して判断していくことになりますので、簡単に駄菓子屋さんをオープンするのは難しいかもしれませんが、町内で新たにお店などを開業しようとする方達にたいして、関ヶ原町では起業支援交付金などお手伝いをしております。今日、河本議員からいただいた、ご提案は、これからの観光まちづくりの参考にさせていただきたいと思っています。

ご提案ありがとうございました。

では、私から河本議員に質問させていただきます。

駄菓子屋以外に、どういったお店が出来たら、うれしいですか？

また、駄菓子や以外に、こんなものを開発し、販売することに挑戦したいということがあれば教えて下さい。